

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
健康科学論		必修	1	1	通年 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
窪川 理英 他	404	r.kubokawa	火・木 12:10~13:00		
授業の目的・概要	「心身ともに健やかで活気に満ちた状態」である健康を維持するため、健康を損なって疾病に陥ることなく、健康増進を図ることは、現代を生きる社会人にとって欠かせない生活上のテーマである。本講義では、医療・保健・福祉の専門的な知識の基礎を理解するため、学科の教員がオムニバス形式で開講する。基礎医学における最新の学術的知見や各専門職の現場実践での話題を通じて「生命を深く理解する」学びの素地を身に付けることを目的とする。これらの内容については、同時双方向型授業としてメディア(Microsoft Teams)を利用した意見交換や、提出課題に対するフィードバックを活用して包括的に理解を深める。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	講座を通して、学科の枠を超えて、本学の各専門分野の全体像をつかんで欲しい。				
教科書	特に指定しない。教員が資料を準備する。				
参考書	特に指定しない。				
外部教材	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	健康の概念、医療について概要を説明できる。			HSU(1)~(3)	
②	人体の構造や機能について概要を理解し、説明できる。			HSU(1)、(2)	
③	健康や看護およびリハビリテーションに関わる専門職について概要を説明できる。			HSU(1)~(3)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、遺伝子疾患から医療者としての倫理を学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：窪川理英]	同時双方向型授業	Teams による配布資料等での復習	2	
2	疾患生成論と健康生成論の比較を行いながら高齢者にとっての健康とはどういう状態なのかその構成要素を学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：三科貴博]	同時双方向型授業	Teams による配布資料等での復習	4	
3	疾患モデル動物や細胞を用いた創薬関連研究のプロセスを学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：田中将志]	同時双方向型授業	Teams による配布資料等での復習	4	
4	高次脳機能障害とそのリハビリテーションを学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：小沢健一]	同時双方向型授業	Teams による配布資料等での復習	4	
5	子供の発達の違いをどのように捉えるのかについて学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：渡辺俊太郎]	同時双方向型授業	Teams による配布資料等での復習	4	
6	「こころ」と「社会」で支える健康① ～身近な福祉～ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：宮澤江梨子]	同時双方向型授業	Teams による配布資料等での復習	4	
7	「こころ」と「社会」で支える健康② ～メンタルヘルスと心理学～ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：前川真奈美]	同時双方向型授業	Teams による配布資料等での復習	4	

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

8	ケアにおけるタッチングについて学ぶ フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施 [担当：窪川理英]	同時双方向型授業	Teams による配布資料等 の復習	4			
試	定期試験は行わない 講義を基にポスター作製し成果発表を行う						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	80	20	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	40	20	0	0	60
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	各回、講義内容の要約をリアクションペーパーとして提出する。講義終了後学生発表の学びをレポートとしてまとめる。 評価基準（ルーブリックにより評価）については初回講義（窪川担当回）で説明する。			レポートの添削・評価	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	講義内容を基に自らテーマを決めポスター作製を行う。ポスター作成時、解りやすく伝える工夫をする。評価基準については最終（8回目）講義で説明する。			ポスター発表の評価	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	三科貴博、田中将志、小沢健一、渡辺俊太郎、宮澤江梨子、前川真奈美						
教 員 の 実 務 経 験	各教員は基礎医学、理学療法、作業療法、福祉心理、看護の分野の専門家であり、教育、研究および臨床経験が豊富である。						
実 践 的 授 業 の 内 容	この授業では、基礎医学をはじめ理学療法、作業療法、福祉心理、看護の専門家が、健康に関わる最新の学術的課題や臨床現場での実践および課題についての話題を提供し、受講者と一緒に健康を科学的に理解する思考を学んでいく。						
そ の 他	Teams を使って遠隔授業を行う。 課題ダウンロード等があるので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。 今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。						